

# 書画

## 文化コンテンツ創造学科 書画コース



テキストレポート科目



テキスト特別科目



スクーリング科目



必修科目



選択必修科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

### 書画コース専門教育科目

STEP①

書画を代表する理論と表現するための基礎を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
書画講義1	書画同源	TR	必	2	有	「書」と「画」は本来、東洋文化の中で深くつながっていることを認識し、理論と実践の中で書画の精神性がどのように表現されてきたのかを学ぶ。
書画講義2	書画論	TR	必	2	有	書画の歴史に秘められた技法、理論から古人の美意識、発想力、創造性を学ぶ。
書画講義3	素材と表現	TR	必	2	有	書画表現では、用いる素材によって、作品の出来上がりに差や違いが生じる。ここでは素材への理解と、そこでの視覚的効果について考える。
書画講義4	余白論	TR	必	2	有	書画表現で重視してきたものが余白になる。具体的な作品を通して余白の概念を学び、そこでの美意識について理解を深める。
書画演習 I-1	書法1	TW	必	2		文字の象形性や、成り立ちに目を向けながら、古代文字の造形美と、字形の変化、変遷について学ぶ。その上で、臨書による書の古典の学習を行う。
書画演習 I-2	画法1	TW	必	2		四君子という画題を通して筆墨で造形することの基礎を身につける。墨竹表現では、まず直線的な線のリズムを習得し、次に画面全体の構成と余白の関係を学ぶ。
書画 I-1	篆書法・隸書法	S	必	2		篆書・隸書の名品、古典を臨書を通して学ぶ。そこで均整美や、藏鋒や中鋒など、古代での用筆法について理解し、そこで技術習得を目指す。
書画 I-2	構図と空間	S	必	2		水墨画の画面を構成する「対」の関係に注目し、濃淡潤渴の関係を考えながら画面全体を調和するために必要なポイントを学ぶ。
書画 II-1	行書法・草書法	S	必	2		行書・草書の名品、古典を臨書を通して学ぶ。均衡美、筆脈や連綿表現などについて理解し、そこでの技術習得を目指す。
書画 II-2	素材と表現/紙・墨の特性と筆墨表現	S	必	2		生花の写生を通じて水墨画で使用する紙と墨に対する理解を深め、多くの素材に触れながら実践の中で組み合わせ方の可能性を探る。

## 専門領域への理解を深め、実践のなかで表現技法を身につける。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
書画演習Ⅱ-1	書法2	TW	必	2		書という芸術、能書家が成立する漢代以降から近現代までの書の表現、歴史について学ぶ。その上で、臨書による書の古典の学習を行う。
書画演習Ⅱ-2	画法2	TW	必	2		水墨画を代表する画題から筆墨技法を習得し、山水画、花鳥画の空間がどのように構成されているのかを学ぶ。
書画Ⅲ-1	楷書法・創作法	S	必	2		楷書の名品、古典を臨書を通して学び、楷書の用筆法、技術習得を目指す。これまでに学習してきた内容を基に、書表現での創作についての考え方、方法を学ぶ。
書画Ⅲ-2	画稿と創作	S	必	2		水墨画は即興的に表現する一方で、下絵を作成して一步一步制作する方法があり、イメージから創作へ向かう過程を大切にしながら制作に取り組む。
書画Ⅳ-1	書と絵画	S	必	2		書が、美術と接点を持ち、抽象美に意識をおいた絵画的書が1950年代を前後して成立していく。抽象美を背景にした絵画的書の表現を学び、そこでの制作を行う。
書画Ⅳ-2	古典表現	S	必	2		歴代水墨画作品から伝統的な構図法、表現法を参考にし、各自が組み合わせを変えながら制作を行う。

## 研究テーマを定め、興味を持つ分野に対し表現の可能性を探る。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
書画V-1(書)	書とデザイン	S	選必	2		文字の美は生活の中で、至るところに存在している。書のデザイン性、そこでの美的表現について考えながら、デザインをテーマにした制作を行う。
書画V-2(書)	書と美術	S	選必	2		現代的な書として、立体性、平面性、空間性などさまざまな表現手段があることを学ぶ。美術としての表現性について考えながら、そこでの制作に取り組む。
書画V-3(画)	抽象表現	S	選必	2		水墨画は筆墨で「造形」することに加えて、画面全体から感じる余韻を大切にする。視覚的な意識に加えて画面を包み込むような雰囲気を大切にしながら墨の韻律を表現できるように制作を進める。
書画V-4(画)	水墨表現と現代性	S	選必	2		水墨画は伝統を継承する一方で、これから水墨画表現に対し、もう一度自分に問いかけながら新たな形式と表現の可能性を探る。

「社会」、「歴史」などに対する広い視野を持ち、  
自分にとっての美や表現を考えながら形にしていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

4年次

卒業制作(書)		S	選必	4		これまで学んできたことの集大成として「表現技法」に「新たな視野」を加えながら、各自がテーマを設定し制作に向かう。
卒業制作(画)		S	選必	4		

3ヶ月ごとに開講され、「春期・秋期」の開講、「夏期・冬期」の開講に分かれています。

書画コース専門教育科目のS科目は、オンデマンドによる遠隔授業です。

3年次、4年次S科目は「書」か「画(水墨)」どちらかの選択になります。